

同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」

①同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。

おきなわ同友会しんぶん ニライ みらい

2019年(令和元年)

10月号



No. 379

発行: 沖縄県中小企業家同友会 編集: 広報委員会

〒901-0152 沖縄県那覇市小横1831番地1 沖縄産業支援センター603号 ☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208 http://www.okinawa.doyu.jp E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp



今回は、名護市産業支援センター内にある、印刷・広告・宣伝のことから琉球若草の大森陽介専務にお話を伺いました。

認定取得に チャレンジ

年、沖縄県名護市豊原に三名で営業所を立ち上げました。経済金融活性化特別地区での認定を受けるため、若草印刷名護営業所から法人化して、(株)琉球若草を設立しました。その際、営業から管理部門の経験がある大森さんが、会社の立上げの責任社として正式に赴任しました。若草グループの印刷物データの制作拠点を、作るといふ目標を掲げ、スタッフを増員、技術指導を続け、その目標をク



経済金融活性化特別地区 製造業で初の認定企業

大森 陽介 氏 (株)琉球若草 専務取締役

お客さんの収益に貢献 できる販促物をめざす

リアできませんでした。社員が増えたこと、また営業活動を本格化させるために、現在の名護市産業支援センター内に移転しました。経済金融活性化特別地区での認定を取得したのは、制度改正により、製造業も対象業種に該当になったことを機に、特区認定にチャレンジしました。沖縄の企業として認知され、会社の信用の一つにしたいという目的でした。当時、認定を受けた企業は二社しかなく、

製造業の認定は一社もなかったため、名護市や沖縄の実績になればという思いもありました。認定事例がないこともあり、手続きには苦労しましたが、県や名護市が応援し、製造業で初の特区認定を受けることができました。

経営理念に 「広はラブレター」

同友会へは三年前に入会し、今年には北部支部役員にもなりました。経営

者の赤裸々な話や、参考になる事例、自社の悩み、解決策など、日々の仕事に活きる学びがたくさんあり、その学びを実践しているとのこと。大森さんは、群馬の大学を卒業して信用金庫を六年、(株)若草印刷へは現在の社長から声をかけられ転職しました。沖縄が大好きで、今流行りのS UPサーフィンも沖縄に来てから趣味としてやるようになり、趣味や地域への行事に参加することで、多くの方々とながれるようになったとのこと。家族とは離れて暮らしていますが、携帯でテレビ電話ができたり、月に一、二回群馬への出張で一緒に過ごしたり、何より家族が、沖縄に定期的に行けると喜んでるそうです。

最後に、琉球若草は「広告はラブレター」という理念で、印刷物を中心に看板、店舗装飾、HP作成など、販売促進、宣伝に関するあらゆるサポートを提供しています。洗練されたデザインを武器に、最終的に届く人を想像し、お客さんの収益に貢献できる販促物をつくっていきたいと大森さんは話します。今後の(株)琉球若草の発展が楽しみです。(事務局)

《会社概要》 (株)琉球若草 専務取締役 大森 陽介 氏 (北部支部) 所在地/名護市字大中1-19-24 名護市産業支援センター1F TEL/0980-53-6050 事業内容/製造業(商業広告全般の企画・デザイン・制作・印刷・加工) URL/http://ryukyu-wakakusa.co.jp

第29回 経営研究集会 「人を生かす経営」の実践で持続可能な未来を築こう ~令和の主役は中小企業だ!!~ 日 時 2019年11月14日(木) 13:00~20:00(受付12:30) 会場 【分科会】沖縄産業支援センター (那覇市小横1831-1) 【基調講演・懇親会】パシフィックホテル沖縄 (那覇市西3-6-1) 懇親会費 4,000円 第I部 「分科会」(13:00~16:30) 第II部 「基調講演・分科会報告」(17:10~18:50) テーマ: 同友会は経営者の宝島 ~おせっかいな仲間達と出会い、実践する。失敗しなから変わる~ 講師 株式会社 吉村 代表取締役社長 橋本 久美子 氏 (東京同友会) 第III部 「懇親会」(19:00~20:00)

茶論 五月から地区に、微力ながら支部の育成と若手の育成に力を入れている。これまで理事として各支部に赴き、共に汗をかき多くのことを学ばせてもらった。▼六年ぶりに那覇支部に戻ってきたが、筆者が支部長時とは役員が顔ぶれがほとんど変わっている。「うりずん世代」も多い。しかし依然として「勢い」があり活発である。ただ見落としがちなのは、筆者が先輩諸氏から教わったように伝えていきたい。▼先日、若手の役員から「仲間づくりは難しい。成果をだせない」との相談を受けたので、このように論じた。「まず、必ず相手が喜び発展すると確信すること」、また「相手を選ばないこと」そして提案した「成果の種類として新入会は『金星』。再入会は『銀星』。断られたら『梅干し』としよう!」と。ただ梅干しは必ずタネが残る。今植えておけば、きつといつかは入会の日を迎えることだろう。▼「決して『できない』とやらない!それは自分がつくる幻にすぎない!」バスケットボール殿堂入り式典でのマイケル・ジョーダンのスピーチだ。自身の成長と沖縄同友会の発展のため、多くに声をかけて楽しくにぎやかに「仲間づくり」を推進しよう。(仲地治)

# 「碧の会」設立30周年記念「第31回輝く女性経営者のつどい」 対局のバランスとおもてなしで Win-win



コシノジュンコ氏

九月五日、沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハにて台風十三号が接近する中、「つどい」は五六九名の参加で開催されました。

記念式典では「三十周年のあゆみ」を映像で省み、大城恵美実行委員長、喜納同友会代表理事および来賓の城間那覇市長の挨拶、そして過去十

年歴代部長五名の表彰がおこなわれました。元部長の与那覇依子氏の挨拶では、女性経営者の育成と地域・社会貢献のために部会を盛り上げ続けていく責務に強い決意で臨んできたことを強く感じました。



コシノ氏の話真剣に聴く参加者

次に、記念講演として、日本を代表するデザイナー、コシノジュンコ氏が「出会いがクリエイティブであり人生の発見である」をテーマにご講演。衣装も注目

的でした。十九歳で新人デビューし、日本人の活躍が珍しい昭和三十二年にパリ進出。その後世界各地でショールの開催やブランド商品も確立して女性経営者としても活躍しています。若くして起業家精神が備わっていたことに驚きました。

コシノ氏のデザインは和太鼓チーム、バレリーナ、花火、オリンピックエンブレムなど多岐にわたりますが、左右、上下、

内外、自分相手、丸四角など、「対局のバランス（美）」を意識。また、国際的に活躍するうちに、「美味しい日本」を発見。江戸時代から存在する「おもてなし」を分析し、想像以上の粋なはからいと考へ、自身が主催の会ではおもてなしを創造（クリエイティブ）しています。パーティー料理では漆器（日本調）に参

加者の現地食材を綺麗に並べて、「美味しい日本」を演出するなど。現役で、毎日を幸せにする五つの言葉、感謝・希望・思いつめない・健康・行動を大切にしているコシノ氏から私達に、可能性のある憧れの沖縄でいて欲しいと託されました。懇親会も大いに盛り上がりました。（ソムノクエスト(株)・江口直美）

九月十二日〜十三日、第四十七回青年経営者全国交流会が一五〇三名（沖縄から二十八名）の参加で開催されました。「火の国に集いしわさ

もんよ、富国徳の体現者たれ！Try & Error やったことしか残らない」をメインテーマに、初日は十五の分科会で学び合いました。翌日の記念講演は、放送作家・脚本家の小山薫堂氏が「幸せの企画術」のテーマで報告、特別報告は日本ジャバラ(株)代表取締役の田中信吾氏に「もう一歩前へ」思考を広く深くし実践と行動を」のテーマで報告され、学びの深い二日間となりました。（事務局）

## 第47回青年経営者全国交流会 in 熊本



記念講演の様子

を楽しまたい旅行者が集う街、多様な商品づくりや値付けのヒント、パフォーマンスへの寛容な市民、街に若者が集まり始め、ビジネスが生まれ始めていること、ホテルが点在するのではなくエ

リアとして観光地が結びつくこと、まずは観光客を呼ぶことが先決です。県民や観光客など、多岐にわたる議論が交わされ、聴衆を最後まで魅了しました。（株）夢づくり 沖縄・新井良直

## 社員を懲戒解雇したい？ 解雇には手続きが！

同友会会員企業では、社員共育や社員はパートナーとして対等に接しているため、問題社員は少ないと思いますが、最近社員の懲戒処分についての質問が相次ぎました。

その内容は「暴力行為」で同僚にケガを負わせた」「社員の横領が発覚した」等々。このような「見過ごせない行為に対して、即解雇したいが認められるのか」ということとです。

社員の懲戒処分は次の手順で行います。

社員の不正が発覚↓事実調査・関係者からの事情徴収↓該当社員の事情徴収↓懲戒処分の確認↓処分通知となります。

社内で解雇が決定した場合でも、解雇は三十日前の解雇予告または解雇予告手当を支払うことに

よって解雇予告日数を短縮することができます。

社員の不正が悪質または重大なもので、解雇予告手当を支払わずに解雇したいという場合には、労働基準監督署に「解雇予告除外認定」を申請することが出来ます。解雇予告をせずに解雇するための手続きです。

しかし社員の不正が悪質といつても申請がすぐ認定される訳ではありません。労基署から事実確認調査などを行い、一定の要件が認められた場合に除外認定が決定されます。除外認定の決定までは解雇は行われませんから、懲戒処分の注意点として、懲戒内容が就業規則に記載されていることが必要です。

社員の解雇には慎重な対応が求められます



「フビ」

（プロフィール）  
 社会保険労務士  
 日本産業カウンセラー  
 大学非常勤講師  
 市町村行政改革推進委員など  
 社会保険労務士法人 オフィスあるふあ  
 TEL:098-870-6686



青山喜佐子  
 社会保険労務士法人  
 オフィスあるふあ 所長



パネリストによる熱い報告

「観光開発におけるエリア構想の必要性と中小企業のビジネスチャンスの拡大」のテーマで、パネリストは、沖縄コンベンションビューロー・部長の地下貴子氏、沖縄市長の安慶名豊美氏、沖縄市商工振興課・課長の譜久原徹氏、沖縄市観光物産協会・事務局長の山田一誠氏、コザ信用金庫・専務理事の前屋誠氏、オキナワグラ

ンメルリゾート・総支配人の川中由仁氏、沖縄市観光を代表する錚々たるメンバーで、コーディネ

九月二日、那覇経営委員会主催の企業視察が七名の参加で開催しました。喜納朝勝代表理事が経営する(株)丸忠の視察を行いました。

緊張感の漂う中、元気よく朝礼がスタート。リーダーの進行で一人一人に握手していき、次に業務報告等を行う前に自分の今年の目標を話してから報告をする社員に驚かされました。喜納社長

## 那覇支部企業視察 社員が自主的に考え、自ら実践できる社風づくりが大切

「会社は皆が主役であり、自分が成長するステージ」、「朝礼は、自主性と社員を育てる場」、「経営理念は覚えないと始まらない」など、心に響く言葉を頂きました。今回の企業視察で、同

友会の学びを会社に落とし込み、社員が自主的に考え、自ら実践できるような社風づくりが大切だと多くの気づきを得られた視察でした。（株）普天間商会・普天間直樹



熱心に聴く参加者

# 仲間づくりアワード (創立32周年記念・決起集会) 1400社に向けて さらなる飛躍へ!!



田浦通氏

十月三日、沖縄ホテルにて、仲間づくりアワード(創立記念・決起集会)が三十七名の参加で開催しました。

(株)シティーライン・代表取締役の田浦通氏(中小企業家同友会全国協議会・副会長)に「中同協五万名達成の意義と沖縄同友会の役割」のテーマで講演いただきました。

福岡を拠点に、九州専門の物流会社を営んで三十六年、二十九歳の時に沖縄同友会の創立日と同じ十月三日に創業しました。創業時に現金が手元のない事態に、借り入れしなさいといけない状況まで陥りました。回収と支払いの比率のずれが生じたのが原因で、銀行からはそれに見合った担保を入れないと、第三社の連帯保証人を出すことを条件とされました。

新しく何かが始まるときの「嵐の予感」、そんなフレーズをよく聞きますが、嵐の真ただ中で行う例会も、なかなかないのではないのでしょうか?

「ゆいまゝる」6次産業化委員会の第一回目の例会は、台風十七号の接近を間近に控えた九月二十日に行われました。「帰りの見通しが立たないけど大丈夫?」そんな

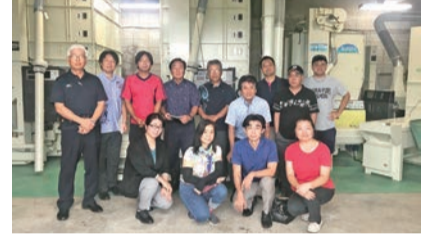
報開示ができるか。の三つの条件をクリアしているか。融資リスクを担保で保証していく時代ではなく、実力と向き合った融資をしてほしいと語ります。また、地元の金融機関が集めたお金を地元に戻元しているかどうかも見ること。金融政策に関する方針は、同友会運動がきっかけとなりました。

全国大会を開催し、中小企業の重要性を行政・金融・団体に訴えかけ、九年前には中小企業憲章が閣議決定されました。中小企業運動が地域に発信することで、七月二十日には、中小企業の日が制定されました。

入会してすぐ共同求人に参加しましたが、大学に訪問すると学校の先生から偏見的な目でみられました。①法人と経営者の明確な区分。②財務基盤の強化。採算収益性。③財務情報の把握と適切な情

な八重山支部の心配を他所に、沖縄本島や宮古島からたくさんの方が見えました。

例会前の最初の視察先「石垣島SUNファーム」では、大口顧客へのパイプ出荷を事業の軸とし、そこへ補助金を使い工場・販売所を建設、当初読めなかった加工設備の費用捻出などの苦労はあったが、6次化はやって良かったというお話を



視察先で集合写真

頂きました。

例会では沖縄工業技術センター・食品醸造班主任研究員の玉村隆子氏のお話の後、グループ討論で話し合い、元々持っている自社の事業(1次 or 2次 or PLAN・宮長高彰)



喜納代表理事から賞品授与される座間味那覇支部長(左)

の経営環境の改善こそ同友会運動の神髄であり、さらに仲間を増やすことで数は力になります。地域における企業数に対する会員数では、組織

## 社長・社員共育塾第3講 社員の目的に寄り添い なりたいたい職人をサポート

九月十七日「社長・社員共育塾」第三講が八十七名の参加で開催しました。

今年度は幹部社員(番頭さん)も講師に迎えようという事で、女性の職人さんが多くテレビ等

率で沖縄は全国二位。運動の定義として、一人で行るのは行動、チームで行るのは活動、地域を巻き込んでやるのが運動であり、地域をどれだけ巻き込めるかが大切だと、これからの同友会活動に力を入れる報告でした。

講演後は、各支部の仲間づくりの報告と、北部支部・浦西支部・那覇支部が表彰され、一四〇〇社に向けてさらに熱が入った仲間づくりアワードでした。(事務局)

でも取り上げられている(有)原田左官工業・取締役工事部長の堀越孝志氏に報告いただきました。

堀越氏は入社当時、先代の社長からよく飲みに誘われて会社に対する熱い想いを聞いていました。様々な葛藤がありながらも父の死の際に三百名を超える関係者が告別式に参列してくれたことに会社や仲間に対する接し方が変わります。

3次を基に、いかに少ないリスクで手を広げるか、1次・2次・3次を一人でするのは並大抵のことではなく、一緒にやる人が絶対に必要という意見が出ました。翌日の「みやぎ米屋」にも視察に行きました。

台風の直撃により、一泊二日が二泊三日になった嵐の中の例会でしたが、二日間合わせた懇親会の数も合計6次会になるなど、事業の6次産業化には欠かせないコミュニケーションの充実した例会となりました。(有)PLAN・宮長高彰)



グループ討論で深める

## 沖繩海邦銀行 同友会会員向けローン・ 「square」の紹介

包括連携協定を結んだ金融機関のコーナーを設けました。耳寄りな情報が掲載されますので一読ください。

- 一、「沖繩県中小企業家同友会」会員向け「ローン」のご案内
- 二、キャッシュレス対応「square」の取扱い開始
- 三、事業性評価に特化する。企業のスコアリング(業歴や業績)、担保に過度に依存しない。
- 四、無担保・無保証・スピード審査



令和元年九月より小規模事業者向けのスマートフォンまたはタブレット端末にて利用できる新決済モバイル端末「square」の取扱いを開始しております。

《モバイル決済「square」の特徴》

- ① 導入費が安い
- ② 通常の端末購入費は約六万円と高いが、Square Reader

ないと思う」に切り替え、離職率の低下にもつながりました。

社員の目的に寄り添うこと、なりたいたい職人をサポートするのが役目という堀越氏は、毎朝目を配り若い子たちに声をかけ

## 碧の会企業PRプレゼン大会 ビジネスマッチングにつなぐ

九月十九日、沖縄産業支援センターにて碧の会企業PRプレゼン大会を十三名の参加で開催しました。

今回は、碧の会会員四社(てんぷす(株)、(有)やんばるライフ、glove s、(同)フィット)と、ゲスト一社(株)アルテミス)



参加者全員で写真撮影

からの企業PRプレゼンがあり、それぞれの会社の商品紹介が行われました。その後、飛び入り参加タイムで参加者からも企業PRを行いました。

最後に、参加者全員で写真撮影を行い、今後のビジネスマッチングにつながる有意義な時間となりました。(事務局)

### 第4回新人フォローアップ研修会 先輩社員からの 仕事の大切さを学ぶ

九月二十五日、沖縄産業支援センターにて第四回新人フォローアップ研修会が九十七名の参加で開催されました。今回は、入社して三年〜十年の先輩社員三名からの体験報告を行いました。

まず初めに、(株)丸忠の金城さんより、謙虚に相手を受け入れ、感謝を伝える姿勢を持つこと。さらに、発言の場を大切にすることや感じたことを共有することが大切と報告されました。

次に、(株)okicomの我那覇さんからは、面白いことにチャレンジし、失敗しても良いとい



熱心に聴く受講生

されました。最後に、冒険王(株)の橋川さんより、仕事のやり方でモチベーションを引き出せ、お客さんとの信頼関係も築ける。諦めず継続すること、出会い

### 第48期経営指針作成講座修了式 経営指針は羅針盤！

自社の未来の礎となる第四十八期経営指針作成講座修了式が、九月九日、沖縄産業支援センターにて受講生による経営指針発表会を含めて、三十八名(受講生二十一名)の参加で行われました。

各講義の中で、自身が考えた経営理念や経営方針を、グループ討論でサポーターと一緒に深掘し、適格なアドバイスを



第48期生修了記念撮影

も大切にするので、仕事のやりがいや魅力を見つけた事ができたと報告されました。参加した新入社員の皆さんにとっても刺激になる報告でした。(事務局)

### 那覇支部 北地区例会 自分が変われば相手も変わる 行きづまったら原点に

九月二十六日、沖縄県立美術館にて那覇支部北地区例会が十三名の参加で開催されました。(株)ティーアールシー・社長の仲地治氏に、「行きづまったら原点に戻る！」第六次中期ビジョンの到達」のテーマで報告いただきました。仲地さんは大学に進学

に、自社に持ち帰り、全員で共有し、浸透させ、実践が不可欠と決意が固まりました。

受講をされていない会員の方は、是非、受講をおススメします！(岩田税理士事務所・岩田進司)



宮良哲史氏

「限りある資源を大切に」を企業理念としている(株)アイレント・社長の宮良哲史さんにお話を伺

### お客様のすべてのニーズにお応えします

いま。浦添市城間で一九八八年に創業し、総合レンタル業としてスタートしました。現在はレンタル事業の他にMICE事業の比率も高く、各種イベントを会場作りから運営までサポートしています。浦添市前田にある本社、那覇店、中部店と三拠点

な国際会議が開催された際、機器レンタルをまとめる会社で(株)アイレントが最初にまともな役割として名乗り上げたことがきつ



充実したレンタル商品

商品は一五〇〇アイテム以上になり、品数としては何万点にもなります。MICE事業では、一九九八年に沖縄で大き

かけで、その後のMICE事業へと繋がっていったのではと話します。私自身も地域のイベントで餅つきに使う石臼をレンタルしたことがありますが、学園祭での飲食店出店や体育祭のテント、結婚式の余興等、もしかしら皆さんもお世話になった事があるのではないのでしょうか？イベントが重なると同じ商品でも足りなくなることもあり「お客様のすべてのニーズにお応えします」の姿勢で買い揃えても提供しています。その反面、レンタルとなるとその商品管理が難しく、レンタル商品をお客様に渡す前にはきちんと使えるかどうか保管管理も含め

**(株)アイレント**  
 (那覇支部)  
 社長 宮良 哲史氏  
 所在地/浦添市前田2-19-6  
 TEL/098-875-3337  
 事業内容/総合レンタル業

大変だと語ります。レンタル商品の使い方かわからない人のために動画を撮って提供し、若いスタッフの力も十分発揮しながら商品開発を行い、お客様に細かなサービスが提供できるようにしています。読者の方では一度、店舗を覗いてみては如何でしょうか？(あいエフピー・大浜博文)

して上京し、自由気ままな生活をしますが、仕送りがなくアルバイトをします。ある日、大手企業の店頭販売をしている会社での商売を経験します。二十六歳で沖縄に戻り、儲けるためにフィリピンに行ったり、二十七歳で中古車販売会社を開業して、順調に売り上げを伸ばしますが、経営者としての勉強が足りず、三十一歳で借金を抱えます。迷いや壁にぶつかって行きづまったら原点に戻ることを思い出して、物品販売を辞め、保険代理店を開業しました。二〇〇三年に法人化。同友会に入り勉強し経営理念を作り直しました。そのころに人を雇うが、人に雇われた経験がないので、社員の気持ちがかかわらず、育てきれないのが欠点でした。自分が変われば相手も変わるという意識を持ち、企業の論理ではなく、現場に行くと相手と会うことが大切だと語ります。

同友会に入会して、社長・社員共育塾で社員が参加するたびに生き生きとしていて、とても良い勉強になりましたが、社員との連携に欠けることもあり、社員と向き合おうと変化が産まれました。同友会活動では現在、第六次中期ビジョンに掲げている会員増強を目指し、多くの仲間を増やしていくことで良い会社を皆で作っていかうと語ります。



報告する仲地副代表理事

とも学びの深い報告となりました。(事務局)

沖繩同友会が今月で三十二年を迎えたのは、歴史の積み重ねと中小企業家の経営維持・発展に努めてきた活動の成果だと実感しました。その中で、二ライみらいは会社紹介や各支部・委員会活動など、活動内容がとても充実した紙面となっており、毎月拝読しています。二ライみらいを見ることで同友会活動の目的を共有し、自社の発展につなげていきます。(有沖繩北斗・大城照政)

**文進印刷株式会社**  
 本社/〒901-0416 沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次706-4  
 TEL (098) 996-3356 (代) FAX (098) 996-3357

那覇営業所/ 〒902-0074 沖縄県那覇市字仲井真201番地18  
 TEL (098) 855-2323 (代) FAX (098) 996-3357

浦添営業所/ 〒901-2111 沖縄県浦添市経塚811-14  
 TEL (098) 879-9303 (代) FAX (098) 996-3357

宜野湾営業所/ 〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古3-11-5 1F  
 TEL (098) 898-1055 (代) FAX (098) 996-3357

沖繩営業所/ 〒904-2165 沖縄県沖繩市宮里2丁目1番3号  
 TEL (098) 937-8607 (代) FAX (098) 996-3357

糸満営業所/ 〒901-0303 沖縄県糸満市字兼城473-10 グレイスコート102  
 TEL (098) 994-5777 (代) FAX (098) 996-3357

うるま営業所/ 〒904-2215 沖縄県うるま市具志川みどり町3-19-5  
 TEL (098) 973-5676 (代) FAX (098) 996-3357

平成19年2月6日、個人情報保護のための仕組みである、JISQ15001:2006(プライバシーマーク 認定番号24000306(07))を取得いたしました。

<南部支部会員>